

## 平成29年度実績報告

事業名	効果	主な実績内容等
<b>会費の募集</b>  会員の募集・会費納入の推進	会費を納入頂いたことで、社会福祉への参加意識を含めた活動を行う事業が図られた。 (1世帯500円)	募集期間 10月1日から2ヶ月間  会員総数 2,526件 会費総数 1,263,000円
<b>&lt;地域福祉事業&gt;</b>		
事業名	効果	主な実績内容等
<b>ボランティアセンター運営事業</b>  補助金・会費収入 571,197円 支出総額 571,197円	ボランティアの相談・登録・斡旋、各種ボランティア入門講座・体験講座などを実施し、 <u>新たなボランティアの発掘と育成を図った。</u>	地域福祉推進事業 ・ボランティア活動の促進 新規ボランティア登録者数 2名 相談・斡旋 4件  ・福祉教育の推進 中学校60,000円 小学校 各40,000円 (計180,000円) (1) ボランティア保険の加入 600名  (2) 夏季ボランティア体験講座 (全4講座 8日間) 期 日  7月21日 ゆうあい訪問 6名参加 7月25日 災害時炊き出し&救急救護訓練 13名参加 8月3・4・8・10・22日 学童クラブお手伝い(8月8日天候不良にて中止) なのはなキッズ 4名参加 げんきっ子クラブ 5名参加 かめっこクラブ 1名参加 8月9日 高齢者施設体験 5名参加  (3) 赤い羽根共同募金街頭ボランティア活動 期 日：11月3日 (白子町文化祭) 場 所：白子町役場 内 容：文化祭での街頭募金活動 参加者：小中学生の希望者と地区社協役員 33名参加

事業名	効果	主な実績内容等
		<p>(4) レクリエーション講習会  期 日：1月26日  場 所：南白亀ふれあいセンター  参加者：40名  講 師：国際武道大学教授 中島一郎氏  目 的：住民自身が介護予防レクリエーションについて学び様々な交流の場で実践できるようにするため  内 容：①コミュニケーションワーク  ②介護予防と運動</p> <p>(5) 第36回千葉県ボランティアの集い  期 日：1月8日～9日  場 所：鴨川館  参加者：3名  内 容：①記念講演  ②分科会  ③自主交流会</p>
<p><b>地区社会福祉協議会事業</b>  補助金・会費収入  1,044,000円  共同募金収入 420,000円  支出総額 1,464,000円</p> <p>※関地区・白潟地区・南白亀地区に  それぞれ 488,000円</p>	<p>各関係機関と連携して、町内におけるネットワークの構築を図った。小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。</p>	<p>小域福祉圏（関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会）  ・夢サロン・関フレンドサロン・サロン全体会  ・介護予防教室・見守り活動・広報発行（年2回）  ・スマイルクラブと保育所の交流会  ・はがき慰問（年賀状送付）  関71名・南白亀98名・白潟157名  ・アルミ・プルトップの回収 換金額25,251円</p> <p><b>【福祉教育関係】</b>  協力団体及び学校：関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会  関小学校・南白亀小学校・白潟小学校・白子中学校・茂原高校  （福祉教育事業内容）  ・関フレンドサロンと関小学校との交流会  ・関フレンドサロンと関保育所の交流会  ・南白亀小学校の運動会に招待しよう  ・いきいきサロン全体会で茂原高校との交流会  ・いきいきサロン全体会で白潟小学校金管部との交流会  ・スマイルクラブと保育所と小学校の交流会  ・保育所竜神祭り支援  ・はがき慰問（年賀状送付）  ・小中学生と赤い羽根街頭募金活動</p>

事業名	効果	主な実績内容等
		(福祉教育会議関係) ・ 3地区社協活動推進連絡会会議 1回開催 ・ 福祉教育推進連絡会会議 1回開催 ・ 福祉教育プログラム企画部会 2回開催 ・ 各地区役員会、総会の開催
・ 介護予防の取組み	各地区社会福祉協議会主催により、「友達作り・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け解決やサービスに繋げている。	・ 関地区社会福祉協議会サロン (1) 開催数 25回 (2) 延べ参加人数 461名 ・ 南白亀地区社会福祉協議会サロン (1) 開催数 11回 (2) 延べ参加人数 154名 ・ 白潟地区社会福祉協議会サロン (1) 開催数 12回 (2) 延べ参加人数 145名

＜共同募金配分金事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保と共に、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	(1) 赤い羽根募金 (10月1日から3ヶ月間) 目標額 2,130,000円 実績額 2,243,962円 (達成率 105.4%) 件数 2,622件 (自治会2,525件 その他97件)
<赤い羽根募金配分金> 配分金収入 2,105,000円 参加費収入 800円 支出総額 2,105,800円	主な配分事業：敬老祝賀会・スマイルクラブ助成・ 調査費・幼児サークル助成・地区社協助成・ 広報費等	<助成事業> ①地区社会福祉協議会助成 (3地区) 420,000円 ②ほっぺの会助成 (幼児サークル) 20,000円 ③森のようちえん しらこっこ助成 20,000円 ④敬老祝賀会 454,000円 ⑤スマイルクラブ助成 100,000円 ⑥防災用備品代 572,360円 ⑦車椅子点検修理 6,000円 ⑧社協広報 211,628円 ⑨子育てサロン助成 164,112円 ⑩民生委員調査費 137,700円 <b>合計額 2,105,800円</b>
歳末たすけあい募金 募金総額 555,124円 支出総額 555,124円	町内各種団体の年末行事への支援や地域福祉活動の強化を図った。	(1) 歳末たすけあい募金 (10月1日から3ヶ月間) 目標額 555,000円 実績額 555,124円 (達成率100.0%) 件数 (自治会：2,527件 その他：10件) ① 各種団体支援 障がい者福祉会ふれあい交流会支援 30,000円 レインボークラブ支援 30,000円 ほっぺの会 (幼児サークル) 支援 20,000円 ② ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布 支給額 30,000円 ③ 社協広報 1月号発行 83,314円 ④ 地域福祉活動助成金 82,000円 (関北地区・五井東地区・荊金東地区・驚東地区・古所南川岸地区 ・古所中川岸地区・古所北川岸地区) ⑤ 事務用用備品代 19,810円 ⑦ 剰余金 260,000円 <b>合計額 555,124円</b>

＜相談事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
<b>心配ごと相談事業</b> 補助金・会費収入 92,100円 支出総額 92,100円	日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員の協力を得て、 <u>相談者に指導及び助言を行ったり、適正な機関へ紹介する等問題解決への手助けを図った。</u> また、 <u>第2水曜日は、民生委員児童委員、行政相談員・人権擁護員・行政書士による合同相談、「なんでも相談ホットライン」を実施し、幅広く問題解決に結びつけている。</u>	(1) 相談所取り扱い件数28件 生計2件・住宅2件・結婚1件・離婚1件 人権法律1件・財産8件 事故1件・苦情3件 その他9件  ※延べ件数となっています
<b>結婚相談事業</b> 会費収入 46,000円 支出総額 19,440円 繰越金 26,560円	相談所の開設し、現在の登録者や結婚について不安をもっている方の相談を行った。 今後は登録者の増員を目的と縁結びサポーターの組織化立ち上げをし、結婚対象者や縁結びサポーターに対し全域に講演会を行う。	(1) 相談所開設(月に1度) 合計 6名
＜在宅福祉事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
<b>給食サービス事業</b> 補助金・会費収入 743,460円 支出総額 743,460円	75歳以上の一人暮らし高齢者に月2回食事を提供し、 <u>安否確認を図った。</u>	毎月第2・4金曜日配食(年24回) 延配食数 1,283食 登録者数 63名
<b>紙おむつ給付事業</b> 補助金・会費収入 1,576,380円 支出総額 1,576,380円	在宅の高齢者等で、介護保険制度の要介護4、5の認定を受けた、常時失禁している方に年4回(4・7・10・1月)紙おむつを支給し、 <u>在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。</u>	支給月 4月・7月・10月・1月(年4回) 実人員 61名 延べ人員 185名
<b>被爆者友愛会援護金事業</b> 補助金収入 0円 支出総額 0円	被爆者友愛会援護金の支給を行い活動の助成を行った。 <b>(対象者に確認取れず、未実施)</b>	被爆者友愛会援護金の支給 総支給額 0円
<b>外出支援サービス事業</b> 補助金・会費収入 2,261,113円 事業収入 349,600円 支出総額 2,610,713円	単独で公共交通機関が利用できない、概ね65歳以上の <u>高齢者のみの世帯</u> に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関、公共機関等」の <u>外出支援</u> を行った。	派遣件数 183件 利用者延べ人数 1,032名 登録者数 27名

＜貸付事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
<b>貸付事業</b> 前年度繰越金 1,189,829円 H29貸付額 180,000円 H29返済額 78,000円 繰越金 1,087,829円	<b>低所得者世帯へ</b> 援助資金を貸し付け、 <b>生活援助を</b> 図った。	<b>生活援助資金(町)貸付</b> 内訳 貸付件数： 7件 貸付総額：180,000円 貸付内容：生活保護支給までの生活費、通院費や治療費等  相談延べ件数 13件
<b>県貸付事業(事務費)</b> 県受託金収入 78,900円 支出総額 78,900円		<b>生活福祉資金(県)</b> 貸付件数： 0件 貸付種類：教育福祉資金、緊急小口資金 貸付総額： 0円  相談延べ件数 8件
＜日常の生活支援＞		
<b>日常生活自立支援事業</b> 県受託金収入 338,000円 利用料収入 49,100円 支出総額 387,100円	高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援する。	・福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約4件、解約3件 ・H30.3.31現在利用者3名
＜心身障がい児(者)福祉の推進＞		
介護用品の貸出	<b>リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援</b> を図った。	車椅子 30件 福祉カー 5件
＜児童・母子福祉の推進＞		
<b>交通遺児援護事業</b> (県社協)	<b>義務教育中の交通遺児家庭</b> に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、 <b>経済的援助</b> を図った。	町内の保育所・小中学校の調査を行い、対象生徒に激励金を贈った。 対象者 なし
＜団体各種支援＞		
<b>団体活動助成事業</b> 受託金収入 981,000円 支出総額 981,000円	福祉団体を助成し、活動を支援した。	(1) 民生委員・児童委員協議会 150,000円 (2) 母子寡婦福祉会 71,000円 (3) 保護司会 85,000円 (4) 遺族会 184,000円 (5) 障がい者福祉会 437,000円 (6) 更生保護女性会 54,000円



事業名	効果	主な実績内容等
地域包括支援センター事業		<p>(3) 認知症をかかえる家族会  開催数 7回  内 訳  ・通常開催6回及び自主活動1回  ・延べ参加人数59名  ・内容：特別養護老人ホーム入所について  歯科医師による口腔ケアの講話  救急隊による講話  認知症ケア専門士による講話</p>
		<p>3. 権利擁護事業  (1) 日常生活自立支援 1件  (2) 成年後見制度の活用 2件</p>
		<p>4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務  (1) ケアマネージャーとの意見交換（困難事例の支援含む）  実施：年 3回(H30・11・14研修会含む)  期 日：7月19日 16事業所 22名参加  期 日：3月13日 21事業所 27名参加  (2) 地域ケア会議  個別会議1回実施  期 日：6月12日  (3) 地域ケア推進会議  期 日：9月27日  案 件：高齢者の見守りの課題について  参加者：8名</p>
		<p>5. 地域包括支援ネットワークの構築  (1) 協議体への出席2回  ①期 日：5月17日  場 所：白子町役場  内 容：ゴミ出し困難者の対応  助け合い（仮称）を作り  訪問型B  ②期 日：11月20日  場 所：白子町公民館  内 容：白子町における見守り支援体制についての課題  現状の見守り支援サービスの把握及び評価  新たな見守り支援サービスの開発</p>
		<p>6. 介護予防教室  期 日：11月26日  場 所：青少年センター視聴覚室  参加数：61名  内 容：加齢に伴う変化・介護保険・認知症の講話</p>



事業名	効果	主な実績内容等
在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の再期まで続けることができるように、医療機関と介護事業所の関係者の連携を図った。	1. 医療機関や介護機関の情報 2. 医療・介護連携研修会にて課題を抽出 3. 医療在宅介護の提供体制を病院のケースワーカーや介護支援専門員と連携し適切な医療在宅介護に繋いだ 4. 在宅医療介護連携に関する相談を総合相談支援で実施した 5. 医療・介護連携研修会 日時：11月14日 場所：白子町関ふれあいセンター 参加数：62名 内容：①長生病院における退院支援の現状 講師： 公立長生病院看護部副看護部長 江澤京子 氏 ②より良い在宅支援につなぐために 講師： 茂原市長生郡医師会訪問看護ステーション 所長 古谷ゆり子 氏 ③グループワーク 6. 長生管内地域包括支援センター定例会において関係周辺市町村と連携を図る

**<介護保険 総合事業 一般介護予防事業>**

事業名	効果	主な実績内容等
いきいき健口教室事業 受託金収入 85,408円 支出総額 85,408円	口腔機能訓練をすることで、口周りの筋力が強化され活舌も良くなり、唾液が出るようになり呑み込みが良くなると共に食物が美味しく食べられるようになった。教室参加後、日常生活の見直しをすると共に、口腔の大切さを実感し周知する活動がみられた。(口腔 栄養)	開催数:8回(口腔・栄養指導)10月~12月 参加数:延べ66名 実参加者数11名 内容:教室の参加者に個別のモニタリングと評価
ふれあい幸民館事業 受託金収入 4,284,564円 支出総額 4,284,564円	総合的な介護予防を積極的に取り組むことにより、日々の生活の中で自ら体を動かし行動するようになり、積極的に健康管理に気をつけるようになった。同時に、要介護状態に移行しないよう歯止めとなっている。	開催数:117回 参加数:延べ1,413名 実参加者数36名 内容:教室の参加者に個別のモニタリングと評価
介護予防の普及啓発	介護予防に関する基本的な知識を普及啓発するため、健康の話、健康相談を行うことにより、健康に関心を持ち意識を高め、日常生活において気を付けるようになった。 (サロン、ミックストレーニング、健康倶楽部)	開催数:23回 参加数:延べ236名

事業名	効果	主な実績内容等
<b>脳の若返り教室</b> 補助金収入 1,143,152円 支出総額 1,143,152円	読み・書き・計算・数字版をサポーターと一緒に うことにより、95%の高齢者が脳機能を維持向上 出来ており、一般高齢者の認知症予防ができる。 また、脳の若返り教室に参加した事をきっかけに受 講期間終了後も仲間との交流機会が増加し外出意欲 の向上・認知機能の低下防止につながっている。 教室終了後は自主活動グループの結成を促してい る。	開催数：40回 参加数：延べ631名 実参加者数18名
<b>介護支援サポーター事業</b> 受託金収入 5,176円 支出総額 5,176円	高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に 社会参加し、地域貢献することを奨励するととも に、高齢者自らの自発的な介護予防を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度登録者0名</li> <li>・サポーター活動延べ時間25時間</li> <li>・ポイント換金者1名</li> </ul>
<b>・介護度重度化防止推進事業 (健康倶楽部)</b>	外出する機会の少ない高齢者に対して、介護予防を 目的としたレクリエーションや健康体操等を歩いて 通える場所（自治区の青年館・公民館等）で行うこ とで参加しづらかった高齢者に対して介護度重度化 防止を推進する。	開催数：計85回 開催地区：牛込東・浜宿東・幸治東・福島・浜宿下村南・ 中里東・南日当・北日当 参加数：延べ615名 実参加者数・・・88名  ◎介護度重度化防止推進員の資質向上の研修の実施 期 日：10月31日 内 容：介護予防体操 下肢筋力機能の強化及び介護予防体操等について 参加数：13名 講 師：茂原中央病院 理学療法士
<b>&lt;介護保険 包括的支援事業(社会保障充実分)&gt;</b>		
<b>生活支援体制整備事業</b> 受託金収入 1,961,000円 支出総額 1,961,000円	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進して いく事を目的とし、地域において、生活支援等サー ビスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行 う。	(1) 協議体 ・平成29年 5月17日第1回協議体会議開催 ・平成29年11月20日第2回協議体会議開催 (2) 生活支援コーディネーター ・他市町村の情報収集及び協議体会議等へ出席